

THE WEEKLY REPORT
2023-2024

世界に希望を生み出そう

District-2510 クラブの価値を高め 希望の種を蒔こう
TAKIKAWA ROTARY CLUB2023～2024年度
滝川ロータリークラブ
会長 鷺尾 昌法

- 例会日：毎週木曜 PM12:30より
- 例会場：ホテル三浦華園
- 住 所：滝川市花月町1-2-26
- 電 話：(0125)-22-3344
- F A X：(0125)-24-2755
- メール：takikawarc@gmail.com
- WebSite：www.rotary.gr.jp

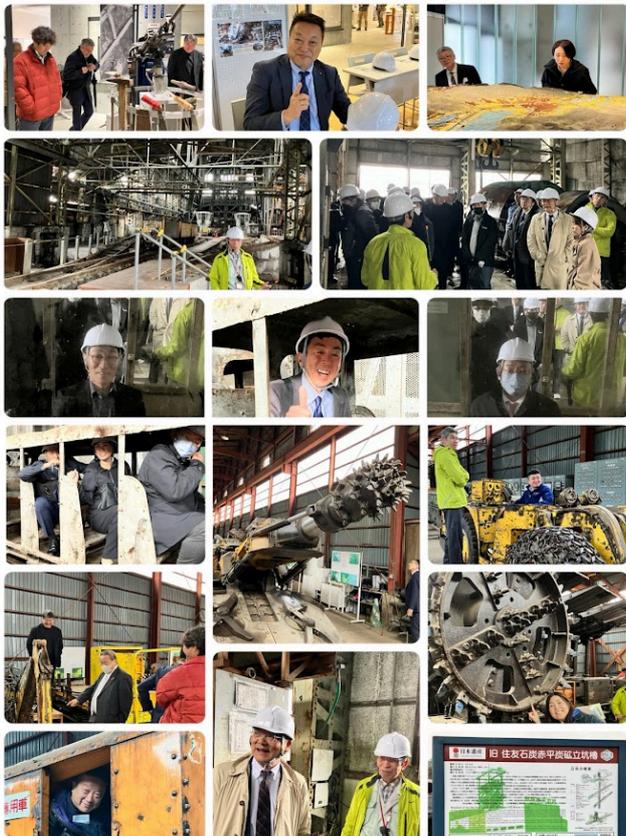
第3393回 例会報告 令和6年4月25日（木）

会長挨拶



皆さんこんにちは。今日の道新1面トップに「道内117市町村消滅可能性」というショッキングな見出しでいっぺんに目が覚めました。人口減少が加速し全国744自治体が消滅する可能性がある」と人口戦略会議が報告書で発表したとの記事であります。2020年から50年までの30年間で、20～39歳の女性が半減する市町村を消滅可能性自治体と定義し、道内では歌志内市が減少率86.7%でトップ。滝川市はどうかというと、若い女性が他の町へ移動すると仮定した場合の女性の減少率は49.6%、移動しないと仮定した場合は34.3%となり、今回の調査で「消滅から脱却した自治体」として赤字で記されておりましたが、50%を辛うじて下回った油断の出来ない数字で、それにしても今よりも若い女性が半減すると考えたら恐ろしい感じがします。これからは子育て支援のみならず、女性の視点でまちの魅力を高めるとともに、企業における若者の低所得や長時間労働を解決しないと自治体として生き残れないと思います。政府の少子化対策では国民負担の建てつけも含め、まったくナンセンスと言わざるを得ません。今の年功序列型の給与では共稼ぎでないとやっていけないという現実があります。滝川で生活すると仮定して、20代でも可処分所得で月20～25万ぐらいたないと子を産み育てることは出来ないご時世ではないでしょうか。職業奉仕の観点からも滝川ロータリークラブのメンバー企業が率先して取り組まなければならない課題だと思います。さて今日は大人の社会科見学と題して赤平の炭鉱遺産を見学します。私が入会間もないころ浦臼の神内ファームを見学したことがあります。ロータリーに居なければ体験できなかったと思っています。しかし残念ながらこのような例会は出席率が低くなりますが、委員会としては準備や例会運営が大変であります。参加できなかったメンバーのためにも会報を通して少しでも感じてもらえればと思っています。

前回のプログラム [移動視察]
— 赤平市炭鉱遺産見学 —
【職業奉仕委員会担当例会】



赤平市炭鉱遺産施設を見学した時の写真です。

幹事報告・委員会報告



前野幹事：芦別RCより会報と5月の例会予定が届いております。IFMRジャパン大会開催のご案内を申し上げます。7月27日（土）17:30から旭川トーヨーホテルにて例会、その後に懇親会が行われます。オートバイの会ではありますが、バイクに乗れない方の参加も可能ですので、ご希望の方は幹事までお申しつけ下さい。ニコニコBOX水原委員長：プレス空知に田端会員の会社が健康経営優良法人に3年連続認定を受けた事が掲載されました。篠島副幹事：次年度の活動計画書の提出は4/30までです。親睦佐伯委員長：4/25木曜フォーラムはグリーンパークです。17時30分に三浦華園からバスが発射します。親睦神部副委員長：5/19観桜会の出席者とイベント参加一覧を作成しましたので確認をお願いします。奉仕プロジェクト村田委員：5/12そらぶち森の音楽祭を開催します。当日10名程度のお手伝いが必要です。よろしくお願いします。

今日のランチ



サンドイッチ
コーヒー・お茶

編集後記

住友赤平炭鉱立坑櫓1963年建造後、1994年まで使用されました。櫓高43.8m、4段デッキケージで海拔-550m下の乗降場まで人員や石炭が運搬されていました。「炭鉄港」とは空知の石炭・室蘭の鉄鋼・小樽の港、それらを繋ぐ鉄道を舞台に繰り広げられた、北海道近代の礎となった歴史・産業遺産の物語が「炭鉄港」です。令和元年5月20日に日本遺産に認定されました。

\ (^o^)/ニコニコBOX報告（敬称略）

編集/クラブ会報委員会 発行日：令和6年05月08日

出席報告 4月25日

会員数	病欠	免除	出席	欠席	出席率
81名	0名	7名	51名	30名	63%